

資 料

特 許 紹 介

防 空 壕

(特許第 158465 號 發明者)
(特許権者) 藤田 昭司

低地又は濕地にも容易に構築し得るやう考案したものである。横に掘鑿した壕 (1) の下方内側壁と底部とに防水壁 (2) を形成する。防水壁の上方に、下方を之より少しく大に、又上方を擴大した枠 (3) を設備し、枠の外周には掘鑿土を盛土し、且壕に平蓋 (5) を施す。平蓋の 1 部には角錐状の構造物 (7) を突設し、之に出入口 (8) 及視窓 (9) を設ける。尚平蓋の大部分には疊敷枚を重積するものである (圖-1, 2)。

圖-1. 縦 断 面 圖

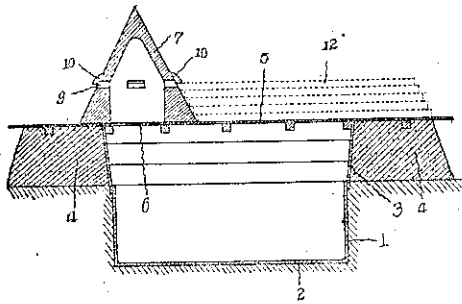
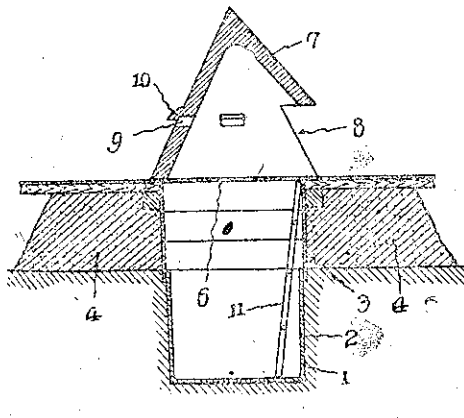


圖-2. 横 断 面 圖



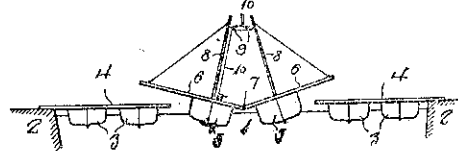
船 橋 開 閉 装 置

(特許第 158515 號 發明者)
(特許権者) 菊地 幸雄

船橋の中央の開閉を容易ならしめんとするものであ

る。船橋は河川の両側から相對して並列せる船舶 (3) 上に橋板 (4) (4) を載置して形成する。其の中央部の船舶 (2 隻) (5) 上に載置すべき橋板 (6) (6) の端部を樞着し、マスト (8) 間に緊締紐 (10) を装置したもので、此紐を緊締して船舶 (5) (5) を傾斜しつゝ所定位置に移動した

圖-3.



る上、紐を緩めて橋板 (6) (6) を橋板 (4) (4) 上に合致せしめるのである (圖-3)。

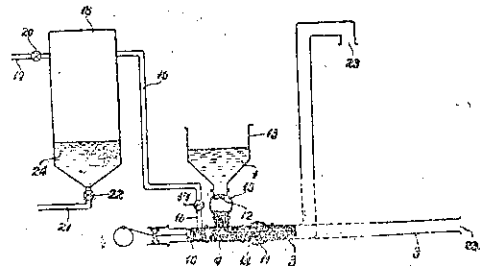
コンクリート送給管の清掃法

(特許第 158771 號 發明者)
(特許権者) 坂 龍吉

コンクリート送給管の管内に残存せるコンクリートを有効に利用させ、又一方に於ては之が飛散して周囲を汚損する事なからしめんが爲に考案したものである。

長さ及高さの異なるべきコンクリート送給管 (3) を連通するコンクリート送給装置 (1, 9~15) の基端に、開閉弁 (17) を介して壓搾空気貯槽 (18) を連通する。貯槽の底部には其の量を調節し得る水 (24) を充滿する様にして貯槽内の空間部を調節する。斯くて前記開閉弁 (17) を開いた時、コンクリート送給管の末端開口 (23) に於て管内のコンクリートが飛散しない程度で排出するやうに、壓搾空気の量及壓力を加減するのである (圖-4)。

圖-4.



坑道掘進機

(特許第 159279 號 發明者)
(特許権者) 山本實馬

所要の大きさの坑道を、其の大きさの通りに逐次掘進せしめんとするものである。

圓盤 (1) の前面に装着した削鑿工具 (13)(14) を、圓盤の回轉に隨ひ其の半徑方向に緩徐に移動するやうにする。又圓盤及其の回轉装置を設置した機臺 (21) を運搬車 (18) 上に移動し得るやうに載架したものである (圖-5, 6, 7)。

圖-5. 側面圖

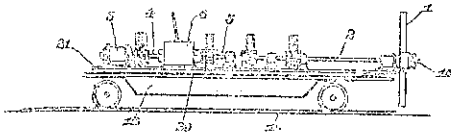


圖-6. 平面圖

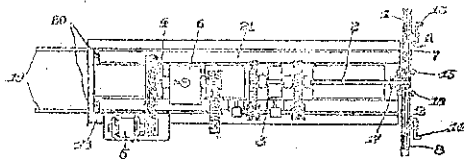


圖-7 中、(2) は回轉軸、(9)(10) は螺桿にして圓盤 (1) に其の半徑方向に設けた導溝 (7)(8) [鳩尾狀断面] 内に回動自在に架したもので、(11)(12) は螺桿 (9)(10) に螺嵌された摺動子で、適當の緊締装置により削鑿工具 (13)(14) を緊定す。

圖-7. 要部の詳細圖

